

## 別紙様式3

## 平成29年度 第3回 「魅力豊かな高校づくり推進協議会」 議事要旨

日 時	平成30年 2月14日 (水) 13:00~14:30
場 所	岐阜県立揖斐高等学校
出席者 (敬称略)	<p>国枝 慎太郎 岐阜県議会議員 (欠席)</p> <p>牧村 範康 岐阜県議会議員 (欠席)</p> <p>富田 和弘 揖斐川町長</p> <p>野原 靖 揖斐川町教育長</p> <p>三島 晃照 揖斐川町教育委員会社会教育文化課長</p> <p>服部 均 揖斐川町商工会長</p> <p>小野島 英明 揖斐建設業協会事務局長</p> <p>横田 修一 揖斐郡北西部地域医療センター長</p> <p>松本 信弘 揖斐川中学校長 (欠席)</p> <p>折戸 克明 北和中学校長</p> <p>錦野 悦朗 揖斐高校同窓会長</p> <p>加藤 智晃 揖斐高校 PTA 会長 (欠席)</p> <p>高見 恵美子 揖斐川町教育委員会社会教育文化課課長補佐</p> <p>鈴木 英司 校長</p> <p>乙津 真由美 教頭</p> <p>和田 摂子 教務主任</p> <p>下野 正人 進路指導部長</p> <p>松岡 順 特別活動部長</p> <p>古川 竜秋 生徒指導部長</p> <p>松野 早苗 生活環境科主任</p> <p>安藤 鐘司 教務地域連携担当者</p> <p>下野 宗紀 岐阜県教育委員会教育総務課課長補佐</p>
議事概要	<p>1. 今年度の揖斐高校の地域と連携した取組について</p> <p>① 学習成果発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個性や個人の能力が存分に発揮され、予想以上にレベルの高い発表であった。</li> <li>・揖斐川町の施設を会場として使用して開催してもらい感謝している。来年度以降も町民に広くPRし、より多くの方々に見てもらいたい。</li> <li>・来年度も中学2年生へのリハーサル公開を継続してほしい。「リハーサルを鑑賞して揖斐高に憧れを感じるようになった」、「デュアル実習で学びたい」、「地元に貢献したい」という生徒の感想があり、素晴らしい学びである。</li> <li>・和装コースで学ぶ生徒も多く、伝統文化を守る観点からも素晴らしい。</li> </ul> <p>② 中高連携活動 (中2体験学習、中3サマースクール、高校見学、出前授業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食物と被服の出前授業の実習では揖斐高生が中学生に上手に指導してくれた。その後の実習でも、教わったことを試みるなど指導がきている。</li> <li>・多くの中学生の保護者に揖斐高校を参観してもらいたい。移動用のバスの拡充を図るようにしており、受け入れをお願いしたい。</li> <li>・生徒たちの姿から学校に魅力を感じる。揖斐高生と交流を持てる機会を谷汲中学、坂内中学にも広げてほしい。</li> </ul> <p>③ 地域でのボランティア (地域のお祭り、青少年育成町民大会など)</p>

- ・いびがわマラソンや図書館フェスティバルなど、町の行事に多くの生徒が参加して助けてもらっている。各地域の公民館で開催している文化祭などの行事にその地区に住む高校生に参加してもらえると有り難い。
- ・観光ボランティアのような活動で揖斐のよさをPRできないか。

④ 校外実習（地域医療講座、幼稚園実習、地元企業訪問 他）

- ・地域医療講座では、毎年熱心な生徒が各職種の実習を行い、交流を深め感動し、将来その職種に就きたいと帰っていく。介護の世界も進歩し、高齢者の人生や価値観を大切にするケアを行い、職員は誇りをもっていることを高校生、更には保護者にも分かってほしい。高校生と上級学校の学生との交流の場を企画して人材育成に貢献したい。

⑤ 年間を通じた研修（デュアル実習、介護職員初任者研修）

- ・デュアル実習先への就職の実績を積んでいくと中学生にも目標となる。
- ・企業は人手不足が深刻化している。デュアル実習の人数を増やしてほしい。また、受け入れに協力をさせてもらう。

2. 魅力ある高校づくりへの提言

- ・揖斐川中学と北和中学の2校と連携型中高一貫教育を行っているが、揖斐川町内の他の2校（谷汲中学と坂内中学）も加え、町が一体となって連携型中高一貫教育を行えるとよい。
- ・地元には他にも素晴らしい企業がある。学生が企業を知る場、企業が揖斐高を知る場を設け、デュアル実習を拡大してはどうか。
- ・揖斐川町の将来の町づくりを若い人たちに考えてもらう「未来センター会議」に高校生にも参画してもらう予定である。
- ・学習成果発表会などマスコミ関係へのPRを町からも働きかけてもらう。『いびがわチャンネル』ではトピックスだけでなく、特集を組んではどうか。

3. まとめ

< 県教育委員会より >

本事業のねらいは、地域の方々に理解され、愛される高校となっていくことであり、その意味では地元の町や企業より温かい支援を受け、理想的ともいえる形でここまで進めていただいている。本校には大きく3つの特徴ある取組がある。1つ目はデュアル実習であり、学習成果発表会は大変感動的で、発表した生徒はこれが本当に高校生かという成長ぶりで、地域も一体となって人材を育てられた姿に感激した。2つ目はボランティアなど地域との連携である。岐阜県は産業教育が充実しているが、中でも本校生活環境科が『家庭クラブホームプロジェクト最優秀賞』という名実ともに日本一の賞を獲得できたのは、地域との連携や協力関係の賜物である。3つ目は中高一貫校としての取組であり、地元の中学校の協力もあって、一日入学では多数の中学生や保護者の参加がある。来年度以降も、この3つを大きな柱としながら、本校がより地元扎根し、より愛される高校となるよう県としても協力していきたい。是非継続したご支援をお願いしたい。

< 学校長より >

この協議会とは別に、外部の方に意見をいただく学校評議員会を年に2回開催しているが、全国的な傾向もあり、学校運営協議会（コミュニティスクール）へ移行して、学校の経営計画や教育課程にもご意見をいただく方向で進んでいる。来年度は2つの協議会を合同で開催する予定なので、また是非ご提言をいただきたい。最後に今年一年のご支援に対して感謝とお礼を申し上げたい。